

令和2年度(2020年度)版 宗谷の学力向上プラン 3つの柱
 — 「Ⅰ 検証改善サイクルの確立」 「Ⅱ 授業改善の推進」 「Ⅲ 学習習慣、生活習慣の確立」 —
 宗谷管内学力向上推進会議

柱	Ⅰ 検証改善サイクルの確立	Ⅱ 授業改善の推進	Ⅲ 学習習慣、生活習慣の確立
目標	短期的、客観的な学力の状況把握と取組の改善	授業改善に向けた「5つのポイント」を踏まえた主体的・対話的で深い学びを実現する授業の展開	学びの大切さを実感する学習習慣等の確立
教育局の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 短期的、客観的な学力の定着状況の把握 ○ 課題に応じた学力向上改善策の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な資質・能力を身に付けさせる授業展開例の提示 ○ 客観的な結果に基づく授業改善策の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域が一体となった学びの環境づくりの方策の提示 ○ コミュニティ・スクール等を活用した学力向上推進策の提示
市町村教育委員会の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 短期的、客観的な学力の定着状況の把握と分析 ○ 各学校の学力向上推進策の進捗状況の把握と支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業改善に向けた物的・人的支援 ○ 各学校の授業改善に向けた取組の共通化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼保・小・中・高を見通した学びの環境づくり ○ 社会教育やコミュニティ・スクール等を活用した学びの環境づくり
学校の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒一人一人の学力の定着状況の把握と課題の明確化 ○ 課題に基づく学力向上改善策の検討と実施 ○ 繰り返し学習等、定着のための指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善に関する校内研修等の実施 ○ 指導計画の見直し ○ 客観的な結果に基づく授業改善策の検証・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の学力の定着状況、学力向上推進策等を保護者、地域住民に提示し、学びの環境づくりへの支援を依頼
目標指標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宗谷管内子どもの学力向上「Sサポート」で、次の結果の割合について、100%を目指す。 ・問題を提供する際に提示した期待する正答率を達成する児童生徒の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種調査や授業評価等で、次の質問に対する回答の割合について、100%を目指す。 ・「国語の授業はよく分かりますか」という質問に対して、「よく分かる」と回答する児童生徒の割合 ・「算数・数学の授業はよく分かりますか」という質問に対して、「よく分かる」と回答する児童生徒の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種調査や授業評価等で、次の質問に対する回答の割合について、100%を目指す。 ・「学校の授業以外（放課後学習等を含めて）で1日当たりどれくらい勉強しますか」という質問に対して、「家庭学習を学年×10分+10分以上する」と回答する児童の割合、「家庭学習を90分以上する」と回答する生徒の割合 ・「学校の学力向上の取組や成果、改善策はよく分かりますか」という質問に対して、「よく分かる」と回答する保護者の割合

【総括的指標】 ～ 一人一人が全国水準以上の学力を身に付ける ～
 令和3年度(2021年度)全国学力・学習状況調査において、
 全ての児童生徒の国語、算数・数学の正答率が、全国平均+10ポイント以上達成!